

【土壌分析調査実施した場合】

様式第2号（第6条関係）（用紙 日本産業規格A4縦型）

調査試料採取調書

・50 cmの深さで採取できなかつたときは、採取した深さとともに、その理由を記載してください。

盛土等区域の位置	静岡市駿河区田中 1696-2ほか1筆地内 (別図のとおり)
採取年月日	令和 5 年 7 月 23 日
試料の用に供する土砂等を採取した深さ	(例1) 地表から50 cm (5点混合) (例2) 地表から30 cm (5点混合) 理由: 地表から30 cmの深さから硬岩が露呈し、試料の採取ができなかつたため。
備考	<p>試料 NO. 1 (<u>対象区域面積 800 m<sup>2</sup></u>)</p> <p>添付書類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試料を採取した地点を示した位置図</li> <li>・現場の写真</li> <li>・計量証明書</li> </ul> <p>・ <u>1つの区域の試料</u> (5点の試料を合わせて1つにしたもの) <u>ごとに本調書を作成</u> すること。</p> <p>・採取位置の正確な地番までは求めないので、採取地点の位置図(盛土等区域内のどこで採取したかわかるような図面)を添付すること。また採取地点の位置図は、<u>盛土等区域と各調査区域の区割りが分かる図面</u>とすること。※イメージ図を参照</p> <p>・ <u>試料の採取深さは</u>、土壌汚染対策法の調査方法に準じて <u>50cm とする</u>。</p> <p>・備考欄には、<u>試料番号</u>と<u>当該試料の対象となる区域面積</u>を記載すること。</p> <p>・現地写真は、現地状況や採取状況がわかるように撮影すること。</p> <p>・対象区域面積の合計が様式第1号の盛土等の面積と整合すること。</p>

【採取地点の位置図 イメージ】



